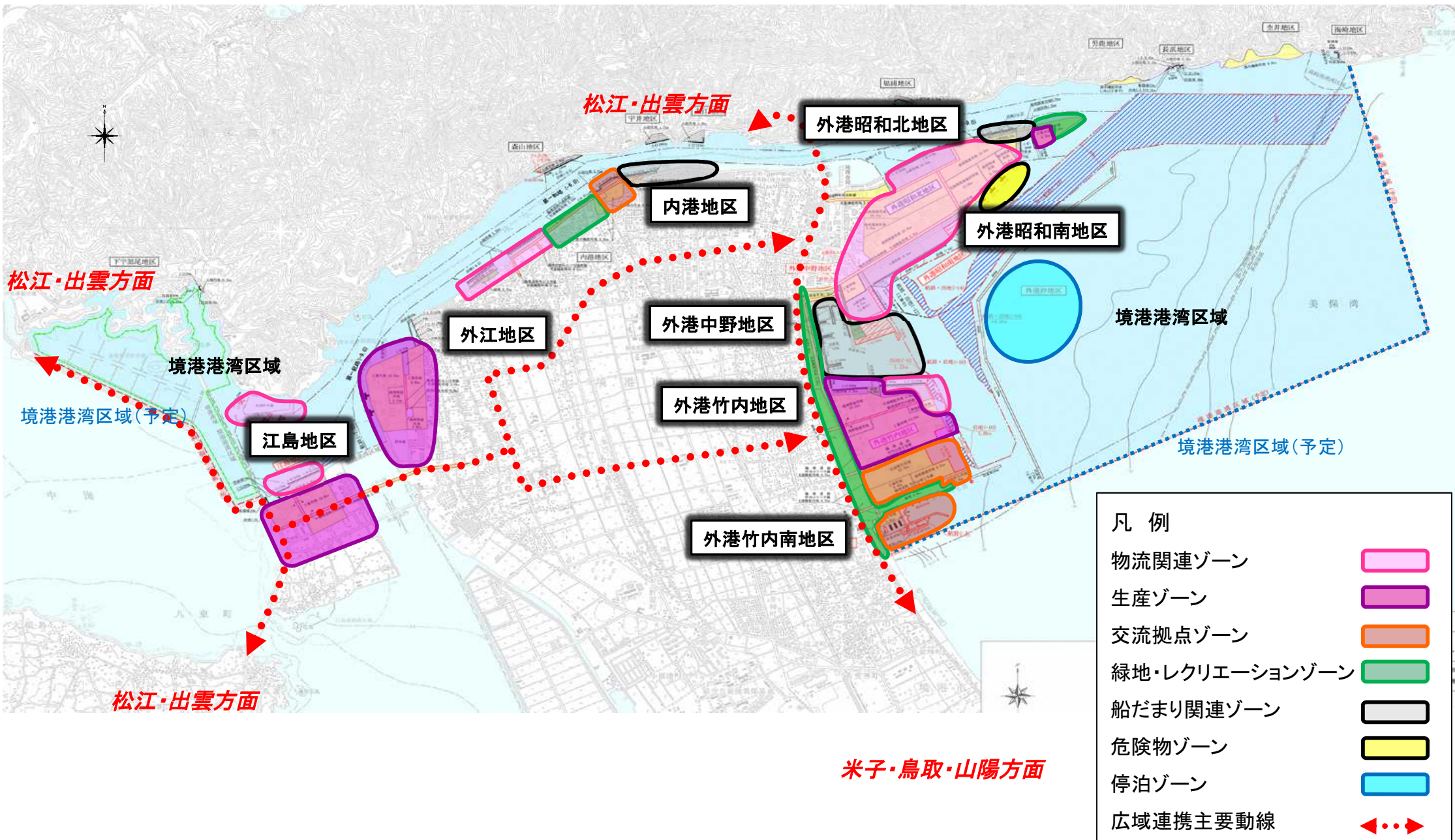


序章	長期構想委員会の概要
第1章	港湾及び背後地域の現況
第2章	目指すべき方向性
第3章	港湾への要請と課題
第4章	境港が今後担うべき役割
第5章	境港の長期構想における施策の展開方向
第6章	将来の空間利用計画

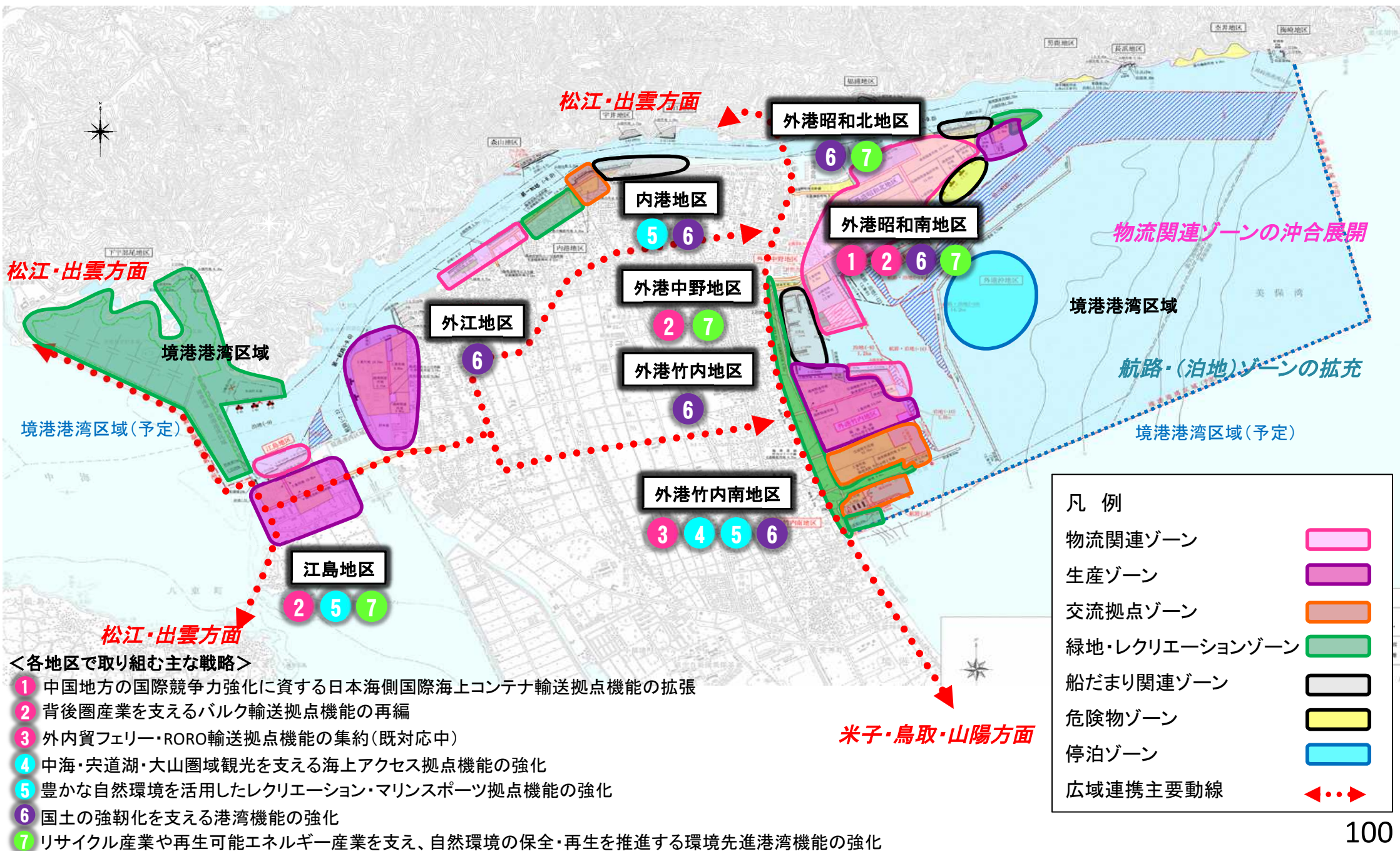
現行の利用ゾーニング図



凡例	
物流関連ゾーン	
生産ゾーン	
交流拠点ゾーン	
緑地・レクリエーションゾーン	
船だまり関連ゾーン	
危険物ゾーン	
停泊ゾーン	
広域連携主要動線	

出典: 境港港湾計画図 (H28.3)、境港港湾計画資料(その1)―改訂―(H17.6)より作成

将来の空間利用：ゾーニング全体図



将来の空間利用: 外港竹内南地区

戦略3

■短期: フェリー・RORO貨物取扱機能の拡充
(DBSクルーズフェリーの移転・集約)

戦略4

■中期: クруз船受入機能の拡充

戦略5

■中期: プレジャーボート保管機能(水面/陸置)の強化
艇種別利用形態を考慮した配置計画
マリーナ港口の堆砂解消

戦略6

■短期: 発災時貨物取扱機能の確保

- ・災害時対応に備えた耐震強化岸壁(幹線貨物輸送)
- ・離島航路(境港~隠岐の島)の物資・人員輸送ルートの維持
- ・中国地域(瀬戸内海等)の広域バップアップ体制に対応(物資・人員輸送)

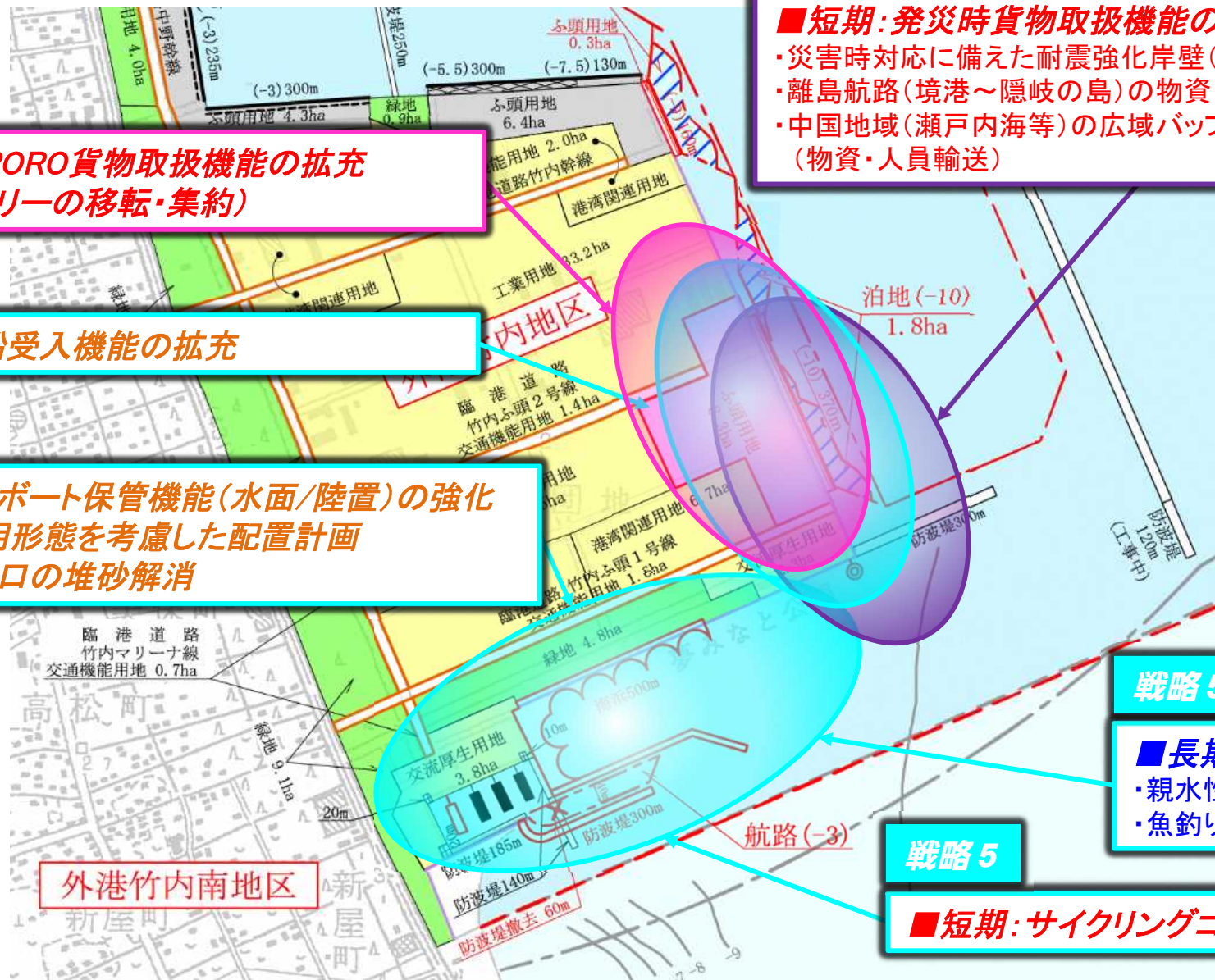
戦略5

■長期: 海浜の造成

- ・親水性のある海浜確保
- ・魚釣り施設の整備

戦略5

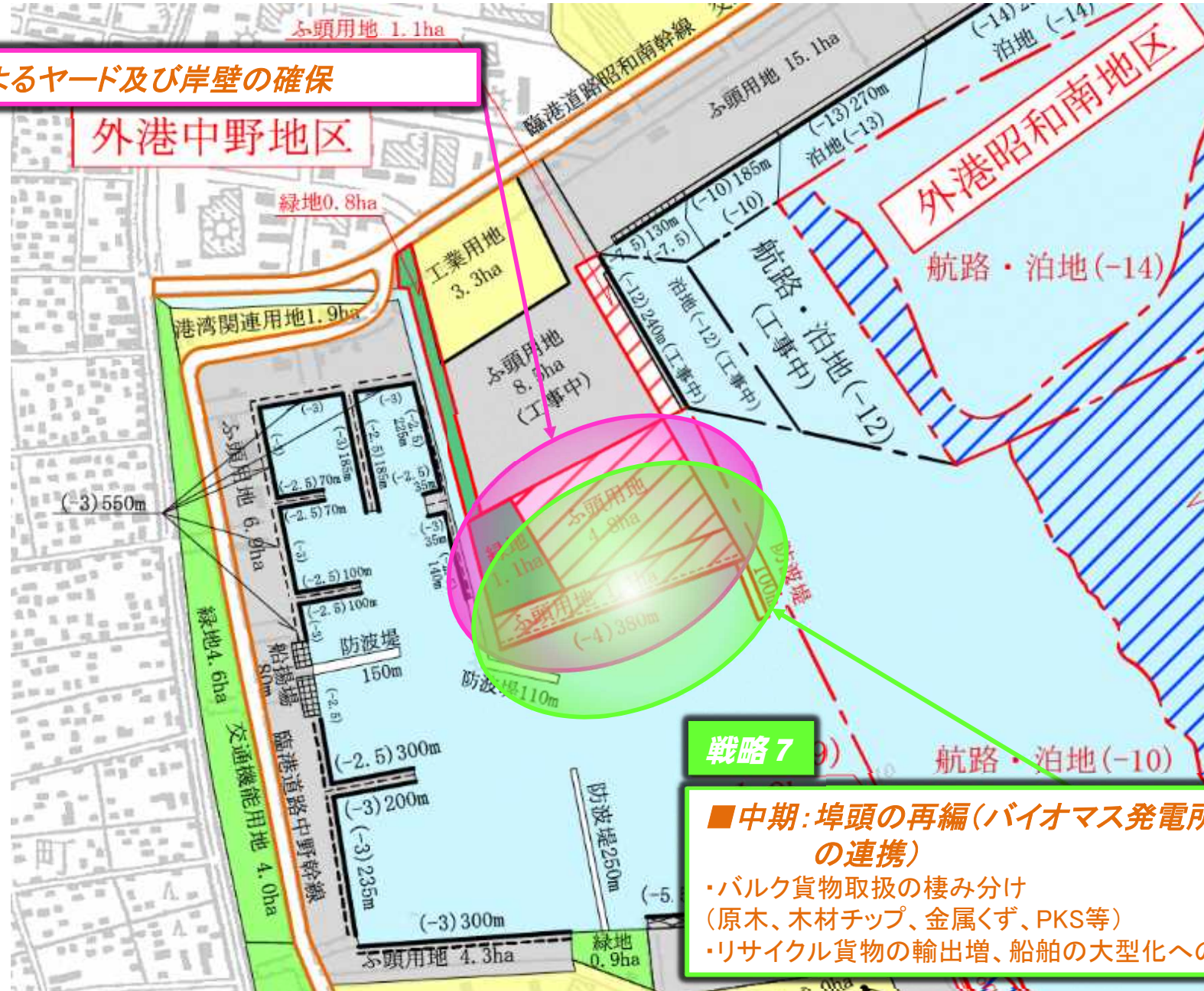
■短期: サイクリングコースの有効活用



将来の空間利用：外港中野地区

戦略2

■中期：埋立によるヤード及び岸壁の確保



戦略7

■中期：埠頭の再編(バイオマス発電所新規建築計画との連携)

- ・バルク貨物取扱の棲み分け(原木、木材チップ、金属くず、PKS等)
- ・リサイクル貨物の輸出増、船舶の大型化への対応

将来の空間利用：江島地区・中海（江島地区周辺）

戦略5

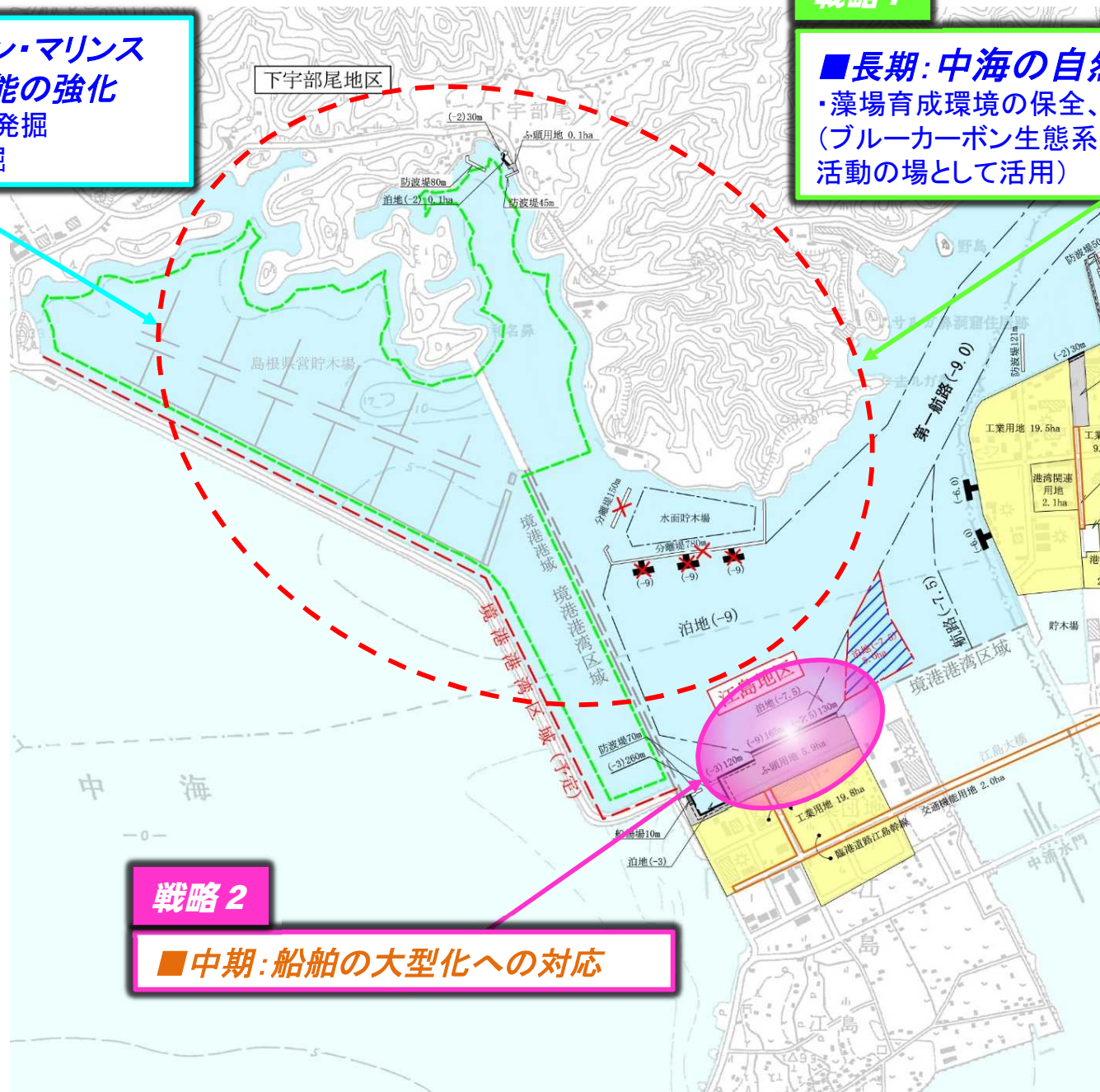
■長期：レクリエーション・マリンズ ポーツ拠点機能の強化

- ・海洋性レクリエーションの発掘
- ・マリンスポーツ会場の発掘

戦略7

■長期：中海の自然環境の有効活用

- ・藻場育成環境の保全、再生
(ブルーカーボン生態系の活用、地元企業のCSR活動の場として活用)



戦略2

■中期：船舶の大型化への対応

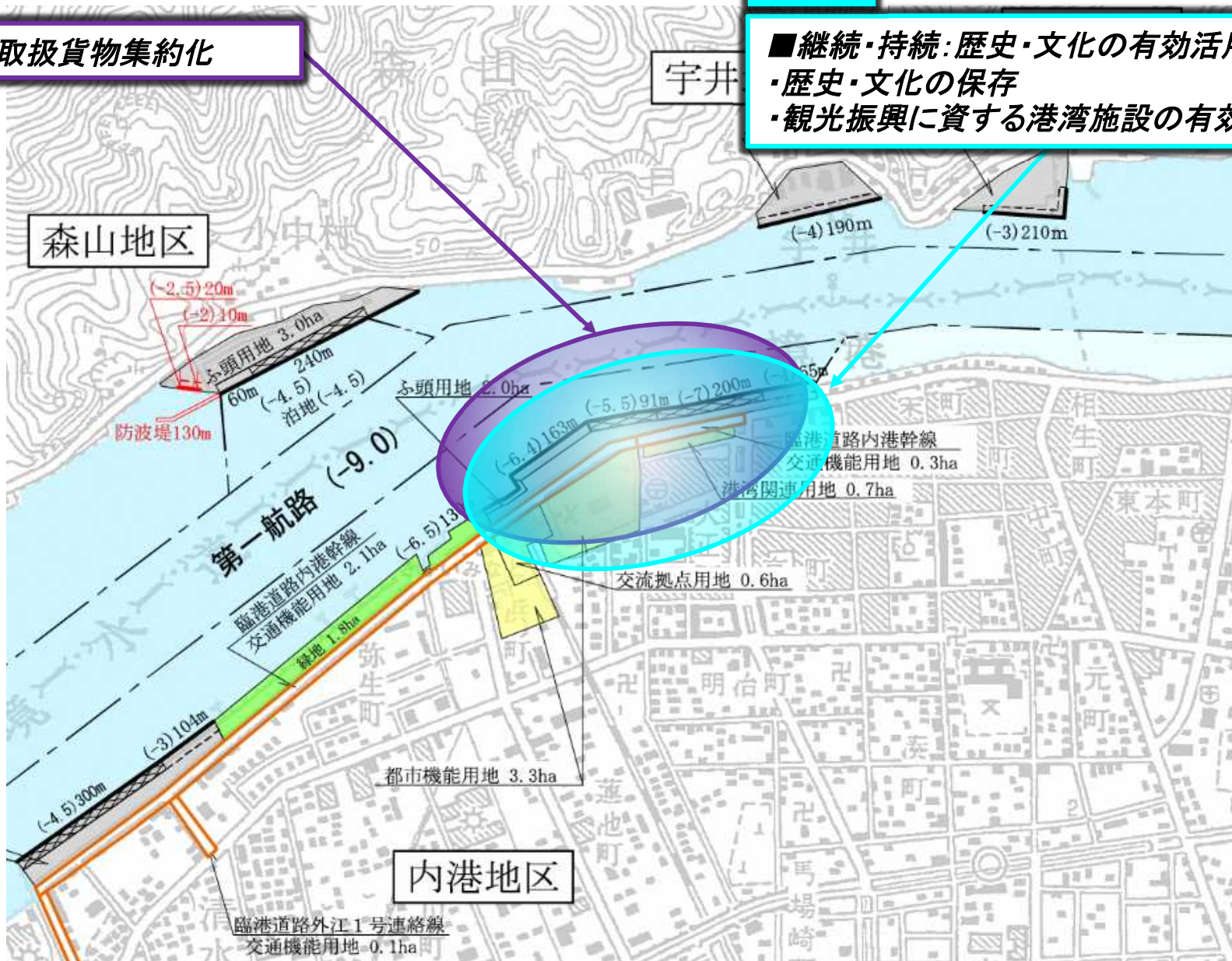
将来の空間利用：内港地区

戦略6

■ 継続・持続：取扱貨物集約化

戦略5

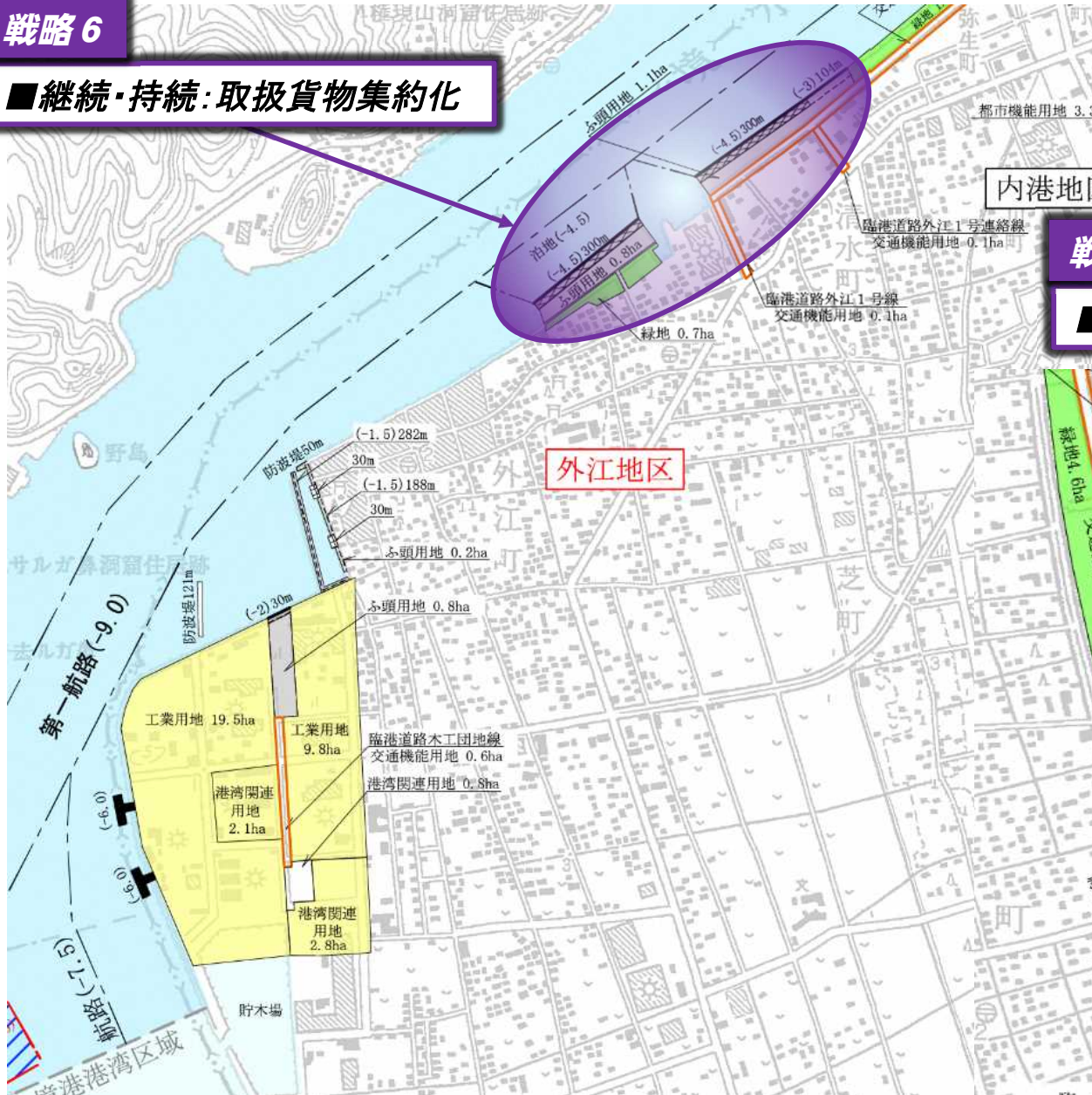
■ 継続・持続：歴史・文化の有効活用
・ 歴史・文化の保存
・ 観光振興に資する港湾施設の有効活用



将来の空間利用：外江地区・外港竹内地区

戦略 6

■ 継続・持続：取扱貨物集約化

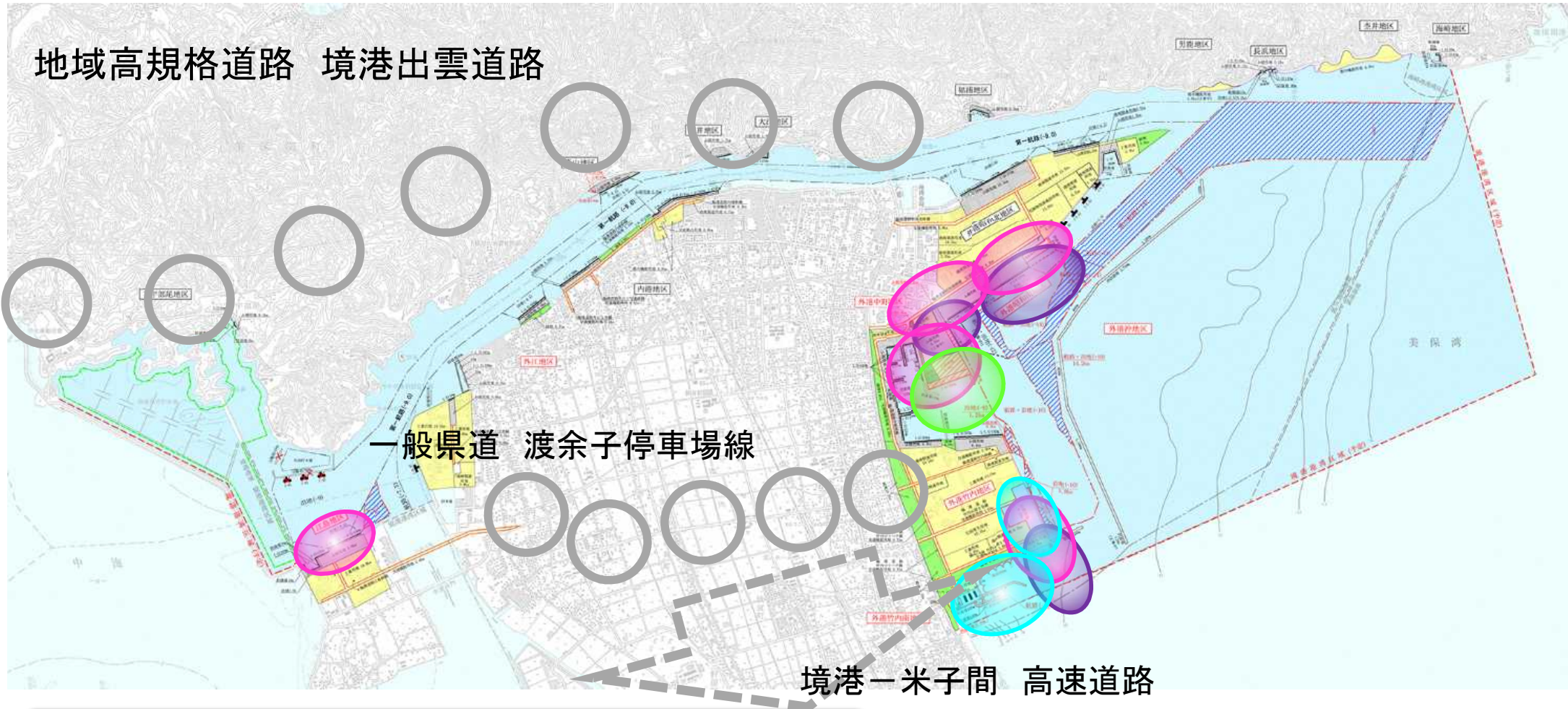


戦略 6

■ 継続・持続：取扱貨物集約化



将来の空間利用：交通



■長期：人流・物流の増加に対応した円滑な道路交通網の確保

- ・境港一米子間の高速道路の整備
- ・境港一島根間の道路網の整備
- ・地域内2次交通体制の強化

■長期：災害時道路交通網の確保

- ・緊急輸送道路接続幹線路の特車手続きの簡素化